

会計様式第 1

支 出 伝 票														
会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号										
日本共産党 犬山市議団	岡 覚	小川隆広	令和6年度	1 5										
支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 2 研究研修費 ☐ 3 広 報 費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 7 資料作成費 ☒ 8 資料購入費 ☐ 9 人 件 費 ☐ 10 事 務 所 費			令和 7 年 2 月 1 2 日										
支 払 金 額	<table><tr><td>金 額</td><td></td><td>¥</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>円</td></tr></table>				金 額		¥	1	3	5	3	0	0	円
金 額		¥	1	3	5	3	0	0	円					
使 途 内 容	日本共産党犬山市議団レポート（No. 22）印刷代													
《領収書添付欄》 製作枚数 25,000枚														

領収証

No. R00423
2025年 2月 12日

日本共産党犬山市議団

御中

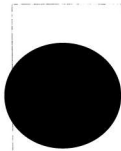
合計金額 ¥135,300

内 訳	金 額
現金	135,300
小切手	
振込	
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	135,300

備考：
民報犬山 第226号として

期日：
No.：
摘要：

株式会社 中部共同印刷
代表取締役 高橋 伸幸
〒485-0829
愛知県小牧市小牧原三丁目191番地
TEL. 0568-71-1601 FAX. 0568-71-1688
担当者：高橋



11 月定例議会の報告 (11/29～12/20)

今回の議会では、最終日に追加議案が 1 件ありましたが、上程されたすべての議案が可決されました。

<主な条例案件>

- ◆ すすみ交流センターの設置・管理に関する条例の制定
羽黒地区の新たな地域活動拠点の設置や管理について定める
- ◆ 犬山市塔野地ふれあい広場の設置・管理に関する条例の制定
城東中学校南側に設置する広場の管理等について定める
- ◆ 負担付き寄附の受納について（注 1）
犬山市出身の宮川潤一氏から木曾川鶴鶴で観覧船事業を行う木曾川観光株式会社の事業継続のために必要な支援を行うことを条件として、寄附の申し出があった。
・寄附金 現金 5,000 万円

<補正予算の主な事業>

- ・障害福祉サービス等給付事業
1 億 7,000 万円
就労継続支援 B 型給付費や
児童発達支援給付費等の増加
- ・子ども医療費助成 4,775 万 5 千円
市単独事業（小中学生の通院、高校生の入院）は、昨年度より支給件数が増。今後インフルエンザなどの流行が予想されるため
※県補助：未就学児の通院
及び中学生までの入院
- ・屋内型キッズスペース整備事業
28 万 9 千円
屋内型キッズスペースをヨシツヤ犬山店 2 階の一部を借りて整備。DBO 方式（公設民営）や指定管理制度導入のため、審議会の委員報酬を計上
- ・舞台設備等改修工事実施設計業務 南
部公民館営繕 1,240 万 5 千円
市民文化会館営繕 1,240 万 5 千円
市民文化会館、南部公民館について
R7 年度、R8 年度に休館を伴う改修工事を予定。

請願

請願第 4 号 育休退園制度の廃止を求める請願書 趣旨採択に賛成



育休退園制度とは、第 2 子以降の出産で育児休業を取得するにあたり、在園中である上の子が退園させられる制度ですが、この制度により昨年度 7 名、今年度は 9 名が退園せざるを得ませんでした。

ビアンキ議員は採択をめぐって「趣旨採択には反対」と討論しましたが、あくまで採択を主張しても議員の過半数が一致できず、結果として「不採択」となることは見逃せる状況でした。そのため、今出来るだけ早くこの制度を廃止するために、議会が力になれる一点は趣旨採択であると考え、趣旨採択に賛成しました。趣旨採択賛成討論は岡議員。

採決の結果、反対議員はビアンキ議員 1 人、他の議員は全員賛成で主旨採択と決まりました。
党議員団は紹介議員でもあり、採択を願う気持ちには強いものがあります。引き続き、育休退園制度の廃止をめざして奮闘したいと思います。
共に頑張りましょう。

- 第 107 号議案（注 1）
負担付き寄附の受納について
- 第 109 号議案
令和 6 年度
犬山市一般会計補正予算（第 6 号）

犬山市出身の宮川潤一氏より、木曾川鶴鶴の継続を目的として、木曾川観光株式会社に対し事業継続に必要な支援を条件とした 5,000 万円の寄附金が寄せられました。この寄附金の受納にあたり、株式会社を支援する寄附金であることから、公平性及び透明性、公益性の担保について、地方自治法第 232 条の 2 第 3 項の逐条解釈などに基き、さまざまな質疑が行われました。最終的には建設経済委員会において、「透明性・公益性を担保するため、適切な監査を行うこと」を求める付帯決議が可決されました。一方で、党が求めた「今後の補助金の諸手続において公益性を明示すること」という附帯決議は否決されました。

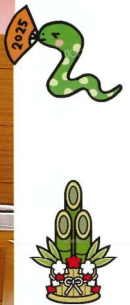
補正予算を通じて、この寄附金は補助金として拠出される予定であり、木曾川観光株式会社による金融機関への借入返済や老朽化した設備の更新などに使用されます。



日本共産党犬山市議会レポート

NO.22 2025 年新春号
発行 日本共産党犬山市議会 犬山市犬山東畑 36 犬山市役所

日本共産党犬山市議会 (TEL/FAX) 岡さとる 67-1420 おかむら千里 61-3232 小川たかひろ 62-6895



新年のごあいさつ
昨年は前回の市議員選から二年目、定例議会ごとに三人とも一般質問を行い、市民の声を市政に届け、要の実現に力を尽くしてきました。そして、新年度の予算に「げげ、実現を！」と予算要求も行いました。今年は、市民アンケートを実施し、市民要望を的確に把握すると共に、学校給食無償化の前進、新聞を含めた保育の充実、地域交通の進展、人権擁護を視座にした社会保障の拡充など、住民の暮らしを守る施策の実現に力を入れていきます。
また、地方政治での前進に欠かせない国政の変革のために夏の参院選にも頑張ります。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。
二〇二五年 一月
日本共産党犬山市議会
岡さとる
おかむら千里
小川たかひろ



2025 年度予算要求 2024 年 12 月 23 日



写真：2025 年 4 月開園予定の「橋五子ども未来園」屋上県内初となる「ZEB 園舎」の橋五子ども未来園の屋上は、太陽光パネル（80kw）で埋め尽くされています。外壁・屋根面の外断熱化、高性能サッシ、自然換気システム、照明自動制御といった様々な環境配慮設備が取り入れられています。

市政へのご意見・ご要望

くらしの相談などお寄せください

※ショートメール、または LINE でお願いします

岡 さとる 携帯：090-3932-0324

おかむら千里 携帯：090-4798-7197

小川たかひろ 携帯 080-3365-1580



一般質問

1. 公用車を活用したEVカーシェアリングを本市で実現できないか。



小川たかひろ議員

(経営部長：答弁) 市役所本庁舎の公用車 44 台のうち、EV 車は犬山ロータリークラブから寄贈されたリーフ 1 台のみで、公用車のEV化は進んでいない。EV 車の配備には充電スタンド設置を含む多額の費用が必要で、本市独自でEVカーシェアリング実現は難しい状況。

2. 地域公共交通計画の中で、「EVバス等を導入していく」としているが、どのようなタイミングで、どのように導入していく想定なのか伺いたい。



常滑市 EV バス



(市民部長：答弁) EV バスの導入については、令和 3 年頃から情報収集を進めているが、1 回の充電での走行距離に制限があることや、充電インフラ整備に多額の費用がかかること、さらにバッテリーの寿命やトラブル対応など、課題が多いと認識している。地域公共交通計画では「電気バス等の導入」を環境負荷軽減や災害対策の施策として位置付けているが、現時点では導入は時期尚早と判断し、引き続き情報収集を行う。

3. 計画に予定のなかった、公共ライドシェアを運行開始した。公共交通計画を見直す必要があるではないか。今後の地域公共交通の激変を想定すると、デマンド交通といった少量輸送などの研究も進めていかなければいけないと思うがどうか。

(市民部長：答弁) 公共ライドシェアは岐阜バス減便への臨時措置として調整し進めたもので、公共交通計画の見直しは行わない。少量輸送はタクシー業界の活性化を図るため、高齢者タクシー助成などの拡充を予定通り実施する。



犬山市公共ライドシェア車両

その他、「移動投票所について」、「福祉会館の跡地利用について」を質問しました。
※「福祉会館の跡地利用について」は議会の手続 208 号をご覧下さい。

1. 災害に強いまちづくり
耐震診断と
耐震補強の取り組みを！

質問：日本は昔から地震が多い。今後、起きるであろう地震に備えておくことが大切。耐震診断や耐震改修などの実績は？

また、耐震改修には多額の費用が必要だが、低額の補強ができないか。
都市整備部長：無料耐震診断は、毎年約 50 件、R6 年度が現在 93 件。耐震改修補助金は、毎年約 5 件、R6 年度が現在 15 件。また、国・県の施策に合わせて住宅の耐震化を進めている。床や天井を壊さずに行う「低コスト工法」は愛知県下の市町でも取り組まれている。

※災害時の行動に不安を抱く障がい者へのサポートとして、つくば市の「障害がある人と支援を行う人のための防災ガイドブック」を参考に作成を提案しました



おかむら千里議員

2. 国民健康保険税滞納者への
「資格証明書」の発行はやめて！

質問：「資格証明書」は、国民健康保険税を長期滞納している世帯に対し、保険証を返還させ交付される。医療機関での窓口負担が 10 割となり、給付申請で 7 割が給付される。犬山市は H17 年の交付以降はこれを発行していなかった。今年から新たに資格証明書を 11 世帯に発行しているが、どのような検討がされたのか。

健康福祉部長：収納課より資格証明書の制度を収納対策に積極的に活用したいと申し出があり、保険年金課・収納課で協議し R5 年 8 月、交付要綱の改定を行った。これに基づき R6 年 3 月に資格証明書を発行した。



※資格証明書では、医療機関の窓口負担が 10 割のため、受診を控え、症状が悪化する可能性もある。どんな人でも安心して受診できるよう資格証明書の発行をやめるよう求めました。

3. 保育士の配置基準の改善に伴う課題について

質問：犬山市独自の保育士の配置基準が見直されたが、その位置づけは？

子ども子育て監：市の保育士の配置基準は、国の基準を前提として、内部運用として取り決められている。条例等に定めることは考えていない。

※保育士の人員費補助の充実を求めました。



※見直された犬山市保育士配置基準
(保育士 1 人に対する児童数)
2 歳児：6 人⇒5 人
3 歳児：18 人⇒15 人
4 歳児：26 人⇒20 人
5 歳児：28 人⇒22 人

1. 犬山中 2 年生、東部中 3 年生で
クラス増・30 人程度へ

質問：R3 年度は 35 人学級でも 1 クラス増にして「30 人程度学級」を実施していた。9 月時点での R7 年度の学級編成案を見ると犬山中 2 年生と東部中 3 年生が 35 人学級となっている。9 月議会での議員間討議を経て、犬山市議会から市長に提出した申入書に「中学校 2 年生と 3 年生について、30 人程度学級の実現を図ること」を加えた。これをどう受け止めているのか。



岡さとし議員



犬山市立東部中学校



教育部長：今回の申入れに対する受け止めは、今まで取り組んできた犬山の教育にご理解をいただき、議会からの力強いご支援を頂いていると理解している。

質問：進捗状況はどうか

教育部長：教育現場や教育委員会、市長部局を含め、市独自の事業として 30 人程度学級を実施していくのか、実施するのであれば、小学校・中学校のどの学年から実施していくのか協議を進めていく。

質問：議会の申入れですので、市長の見解をお願いします。
市長：思いは同じ。30 人程度学級にしていきたい。でも現状では、やはり 35 人学級で R7 年度を進めていかなければならない。しかし、議会からの申入れは重きもので、その検討は進めていく。

2. 加齢性難聴の補聴器購入助成制度の拡充を

(健康福祉部長：答弁)

現在の犬山市は住民税非課税世帯に限り、2 万円の助成であるが、先進地の春日井市では、非課税 3 万、課税 1.5 万円などの事例を紹介して拡充を求めて質問。担当部長は、現時点では事業内容の見直しを考えていない。

3. 五条川とその近傍の歩道の維持管理について

(都市整備部長：答弁)
(イ) 地域の皆さまには、ごみゼロ運動等ご協力をいただいている。ロ) 河川の浚渫(しゅんせつ) 雑木等の除去については県が実施。ハ) 指摘いただいた上流部分のうっそうとしたエリアについては、県に改善要望を出す。

